

静岡県の地形観察等を実施するフィールドワークが、静岡県教育委員会主催のもと実施され、富士砂防事務所では、富士山ならではの地形や地質の特徴と土砂災害との関係性を学ぶ観点から、鞍骨沢遊砂地工を会場として、工事の説明も交えながら、砂防工事が必要とされている状況について学習するお手伝いをさせていただきました。

- ◆日 時：平成29年8月10日（木） 14:00～16:00
- ◆場 所：鞍骨沢遊砂地工 工事現場
- ◆参 加 者：静岡県内の高校生52名、教員6名

～参加者の声～

- ・富士山から、沢山の土砂が流れてくるなんて知らなかった。
- ・砂防工事の規模の大きさにびっくり！！
- ・新しい、色々な技術が使われていることがわかった。



施工中の鞍骨沢遊砂地をバックにUAVを使って記念撮影



砂防工事の必要性を説明



クイズ形式で学んだことを確認！

砂防工事に関わる民間会社の協力により、UAVのデモ飛行や、重機の操作体験、測量技術の進化の学習や測量体験を実施するコーナー等が設けられ、実際の工事で行われている作業の一部を体験して頂きました！！



UAV(ドローン)を用いた空中写真測量について学習



測量機械の進化を学ぶ



測量体験を実施



重機の操作体験



10tダンプカーの死角を体感！